

春季連休中の持経宿来宿舎の対応と作業

5月3日(日)〜6日(水)

参加者 村吉光夫

2日の仕事が終わったのが日付も変わった深夜2時頃。沖崎さんには3日の昼頃に小屋に入ると伝えただけ、落ち着いて寝る気にもならず、途中で仮眠するつもりで家を出たのが夜明け前の4時でした。川上村の道の駅で車を停めて寝ようとしたけど10分目が覚める。

林道は工事予定がある年は整備されて走りやすい。快走。7時半に持経の小屋着。まずは水汲み・小屋の掃除・便所の掃除。水汲みは白谷林道を3km弱下った平治沢で九〇〇を確保。便所は冬の間に黄ばみがついてしまったのでトイレ・クレンザーを持参し綺麗にできた。

次は初日の大事な仕事、平治の水場の確認。以前に確認してないのに「大丈夫と思えます」と言ってしまったことが。ある。実際には涸れていたのだった。平治で宿泊した人には大変な苦勞をさせてしまったと思う。

今年の平治の水は細くていたけども玉岡さんが担ぎ上げたという鉄槽のおかげで問題なく汲める状態でした。槽底の小石も3月に沖崎さんが浚えてくれたので微小。春の小石浚えは手が切れるように冷たいので一つ楽が出来た。救急箱の補充をして、昼の弁当も食べて持経に戻る。

持経に戻る途中に出会う人は一行仙まで頑張りまくると快調な方ばかり。まだまだ時間はたっぷり。持経に着いてからもう少し余裕があるので平治まで行こうと思いついて何組かが通過。意外にもこの日持経に泊まったのは2人だけ。正直拍子抜け。

泊まった方も「昨日の様子ではもつとたくさんの人が南奥駆道に進むと聞いていた」と首を傾げるようす。どうやら明日の天気予報が雨、しかも前線通過の雷雨との予報のよう。前鬼へ下りた人が多いのだから。林道に積んだ丸太にカスガイを打ち込んで崩れのない雨だ。予報通り雨。しかし穏やかな雨。歩くには問題の無

防止。明日の作業に備えて丸太と杭を千年桧の先に運ぶ。

今回の持ち込み資材(高圧防腐処理材)

径8cm 8尺丸太 3本、 径6cm 6尺杭 6本、

径6cm 8尺丸太 3本、 径4.5cm 2尺杭 20本

2人。今年には「新客」やショート・コースの人が見当たらない。宿泊者は少ないが皆気合が入った人ばかりだ。持経宿の大修理の話をする。早速東京・葛飾の三浦さんという方が千円を余分に出して下さる。

5日。ヒンヤリとした朝。予報は晴れ。皆さん昨夜のうちにストーブ周りにいろいろな干してしっかき乾燥。今日は快適な山行日。私も千年桧の先の鞍部に出勤。5年位前に乾さんと乾さんの友人とで丸太を運んで下さって土止めをした場所。ようやく続きの作業に着手。8尺の丸太3本で土止めし、段差も4つ設定。森林管理事務所が木製擁壁を作った。部なので、登山者の靴で土の流出が起きないようにしたい。上部は広く露出した木の根を土の中に戻してやりたい。資材の一回を次回に残す。宿泊者2人。

6日。朝からバイクの音。仮面ライダーの登場かと思いきやヘルメットを取ったら沖崎さんだった。大修理の準備作業というところで、続けて児島さんと濱野さんも到着。

「持経K A F E」の味わい深いコーヒーを飲んで頂く。

今日は快晴、私はマイペースで毛布干し。続けて昨日の作業現場での段差設定2段。毛布は昨日と今日の午前午後とで棚には防虫剤を仕込んで完了。

登山者に南の地藏岳の迂回路は撤去したことを話すと「最新情報を迂回路ありになってる」と言われる。地図を見ながら話を突き合わせると「葛川辻↓香精山」のトラバースが迂回路としてガイドされてる。D.L.されたもので、自分の位置も表示されてる。大型スマホにD.L.されたもので、自分の位置も表示されてる。優れない自分を見つけた。新しい時代に付